

シンナガサキミーティング開催レポート

in 福田・手熊小学校区



令和5年12月4日（月）、コミュニティ連絡協議会や育成協、育友会、民生委員、大学生など15人の皆さんにお集まりいただき、福田・手熊小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、パーロンや福田ハイヤ節などの伝統行事、ロードレースやイルミネーションなどの地域の特色ある活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①地域コミュニティ連絡協議会の補助金について

地域コミュニティ連絡協議会で予算を申請して、長崎市から補助金をもらっているが、長崎市からの補助金には決まりごとはあるのか。地元の色々な団体の意見を1つにまとめて出したほうがいいのか。

市の考え方・回答

地域コミュニティ推進交付金は、地域コミュニティ連絡協議会が、それぞれの地域に必要な取り組みを地区全体で話し合い、実行していく取り組みに対して、財政的に支援することを目的に交付しています。

交付金は、1つの協議会につき50万円の「基礎割」と協議会の活動区域内の人口×400円（1万円未満切捨て）「人口加算割」の合計額が上限となっています。

対象事業は、協議会が主催者となる事業でまちづくり計画に基づく自主的・自立的な地区課題を解決に資する事業となりますので、地域のみなさんから話し合い、必要な事業をまとめたうえで、申請をお願いします。分からないことがありましたら、地域センターまたは地域コミュニティ推進室にご相談ください。

②イノシシ対策への支援について

イノシシ対策の網を自分たちで設置している。人材が高齢化しているので、行政から支援してもらえないか。

市の考え方・回答

有害鳥獣対策については、「防護」「棲み分け」「捕獲」の3対策を実施しており、防護対策として侵入防止資材の貸与を行うとともに、捕獲対策としては有害鳥獣対策協議会のほか当地域で複数の地域ぐるみの捕獲隊が活動されています。

侵入防止資材設置については、市から資材貸与を受けた自治会を対象に、業者に運搬・設置をお願いする際の費用の一部補助を行っていますので、補助制度の活用をご検討いただきたいと思います。

③子どもたちの遊び場について

子どもたちが自由に遊べる広場が少ない。観音公園で自由にボール遊びをできるようにならないか。

市の考え方・回答

小浦観音公園については、ボール遊びを禁止しておりません。なお、他の公園と同様、他の公園利用者の迷惑になるような行為を行ったり、フェンスや法面に故意にボールをぶつけるなどの危険な利用は禁止しておりますので、みなさんで安全に利用していただければと考えています。



そのほか、「統廃合後の手熊小学校の跡地活用を考えてほしい」、「小中学生と市長の意見交換の場を持てればいい」、「市職員の地域活動研修を継続してほしい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長の一言

改めて人口減少、そして少子高齢化の中で、地域コミュニティを今までどおり維持していくのが本当に難しくなっているということが、よく分かりました。

市としても、皆様と一緒に考えて考えながら、引き続き取り組んでいきたいと思っています。



参加者からの感想

地域内の他団体の方の話を聞かせてもらうことで、色々と考えるきっかけになりました。

地域のことに関わっていく中で、色々と勉強になりました。

世代を超えて、色々な話が聞けたので、良かったです。

自分の団体の活動について、発言して、前向きに取り組んでもらえそうなので、良かった。

